

作家の思いを感じて
創作人形展

赤名改善センターで、作家の野崎千愛季さん（松江市出身）の創作人形展が開催されました。

野崎さんは、高校生の時から独学で人形の制作を開始。これまで、美術工芸甲子園大賞や日本美術展入選を受賞しています。11月17日には野崎さんの講演会が開催され、町内外から40人以上が来場。野崎さんの作品への思いを聞きました。

来場者からは「作品に込めた思いを聞き、感銘を受けました」との声が聞かれました。



自然の恵みに感謝して
志津見収穫感謝祭

（有）志都の里が主催する毎年恒例の「志津見収穫感謝祭」がオンラインガルテッククラブハウスで開催されました。

この収穫祭は自然の恵みに感謝するとともに、地区住民同士の親睦を深めることを目的に開催。住民だけでなく、国土交通省、島根県、飯南町の職員なども出席し、会場に並んだ地区の皆さんの自慢の品など美味しい料理を食べながら、交流しました。

余興や農産物などの品評会も行われ、会場には笑い声や拍手が響いていました。



よりよい議会にするために
議会活性化住民説明会

今後の議会の活性化に向けた調査・検討結果を説明するため、議会活性化検討特別委員会が主催する「住民説明会」が開催されました。

11月6日から28日にかけて5地区での開催。議員のなり手不足解消のため検討してきた「議員報酬改定」「議員定数」「政務活動費」「議会のデジタル化」について説明し、参加者からの質問に答えました。

各会場で、「議員の役割ややりがいを知りたい」「立候補しやすい環境になっっているか」など多くの質問がありました。



貴重な文化財を学ぶ
図書館歴史講座

交流センターとんぼらと民俗資料館で、図書館歴史講座「民具が伝える冬のくらし」が開催されました。

講座には、町内外から19人が参加。講師の松江市文化財課歴史史料専門調査員の浅沼政誌さんから、昔の飯南町での冬の暮らしぶりについて講演を聞いた後、民俗資料館で国の指定文化財である雪の民具の説明を受けました。

民俗資料館では、普段観る機会のない民具について参加者から多くの質問があり、盛り上がりました。



税金の役割や大切さを学ぶ
税に関する絵はがきコンクール

「税金に関する絵はがきコンクール」は、税金が私たちの暮らしにどのような役割を担っているのか、税金の意義や役割などを理解し、その必要性や使い道について考えてもらうため、小学生を対象に毎年実施されています。

今年は大東税務署管内から386点の応募があり、町内から10人の皆さんが表彰を受けました。受賞者は次のとおりです。作品は町ホームページに掲載予定です。

【受賞作品】

- ・雲南青色申告会連合会長賞
信藤 知奈さん（来島小5年）
- ・雲南法人会長賞
澤田 七彩さん（来島小5年）



- ・飯南町長賞
栃木 結衣さん（志々小6年）
- ・飯南町教育長賞
岸 芽依奈さん（頓原小6年）
- ・飯南町青色申告会長賞
中林 柚月さん（来島小6年）
- ・雲南法人会長賞
岡野 里音さん（頓原小6年）
- ・入選
橘高 隼さん（赤名小6年）
- ・入選
三上 玲奈さん（来島小6年）
- ・入選
池田 美汐さん（志々小6年）
- ・入選
景山 月さん（頓原小6年）

おめでとうございます
石川隆さんが法務大臣表彰

更生保護制度施行75周年記念大会が東京都で開催され、石川隆さん（町区）が保護司として「法務大臣表彰」を受賞しました。

石川さんは平成17年から19年間、保護司として活動。これまで犯罪予防や罪を犯した人の更生などに尽力されました。今回の受賞は、多年に渡る功績が評価されたものです。

石川さんは「大変光栄に思います。今後も75歳の定年まで活動을続け、尽力していきます」と話していました。



おめでとうございます
木村康男さんが法務大臣表彰

木村康男さん（敷波）が人権擁護委員として「法務大臣表彰」を受賞しました。

木村さんは平成19年から18年間、人権擁護委員として活動。現在は、出雲人権擁護委員協議会の会長も務められています。今回の受賞は、人権擁護と人権思想の普及への多大な貢献が評価されたものです。

木村さんは「この度の受賞大変うれしく思います。今後も皆さまのご協力をいただきながら活動していきます」と話していました。

